

「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」の評価方法について

1. 「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」の評価の目的

- 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業は、平成 26 年度から 3 カ年の事業として実施されており、各連合会では保健事業支援・評価委員会の運営により、保険者支援が行われている。
- 平成 28 年度は事業最終年度であるため、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会において、平成 29 年度以降どのような事業展開を行うべきかについて検討するため、各連合会で実施されている国保・後期高齢者ヘルスサポート事業を評価する。

2. 「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」の評価項目（当事業のアウトカム指標）と具体的な評価方法案

評価項目	評価方法	実施時期
・ 支援・評価委員会の設置状況・支援対象保険者等数	国保連合会からの事業報告	平成 27 年度・28 年度
・ 研修会・報告会・事例集の作成等の実績と効果	国保連合会からの事業報告・報告会等での参加者アンケート結果	平成 27 年度・28 年度
・ 支援・評価委員会が適切に機能しているか ・ 保険者が PDCA サイクルに沿った保健事業を展開できるようになったか ・ 支援を受けた保険者以外への波及効果があったか	・ 支援を受けた保険者に対するアンケート調査 ・ 支援を実施した国保連合会に対するアンケート調査	平成 28 年度

3. 現時点までの成果

- 47 都道府県連合会に保健事業支援・評価委員会を設置（平成 26 年度中）
- ガイドラインを策定し、各連合会の事業実施に活用
- 情報共有の場の設定と各委員会の均てん化のための報告会の開催（年 1 回ずつ）
- 事例集の作成
- 事業への取組支援のための研修会の開催（運営委員会・中央会・各連合会）
- 中間報告書の作成

4. 取りまとめ時期

- 平成 28 年度に実施予定